

< 報告 >

## 社団法人砂防学会 会員実勢（平成 19 年度期首）

（会員種別）	（人数）
正会員	2 3 8 1
個人 国内	2 0 7 5
個人 海外	1 8
法人等団体	2 8 8
名誉会員	9
学生会員	1 2 0
賛助会員	2 9 6
特級	1 9
一級	4 0
二級	7 2
三級	1 6 5

**平成 19 年度社団法人砂防学会通常総会  
(社)砂防学会総務部**

日 時：平成 19 年 5 月 23 日（水） 13 時～14 時

場 所：福井県民ホール（福井市）

**議事次第**

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 来賓祝辞
- 4 来賓紹介
- 5 議 事

（議事録署名人選任）

- |         |   |
|---------|---|
| 第 1 号議案 | 平成 18 年度事業報告                            |
| 第 2 号議案 | 平成 18 年度収支決算報告<br>平成 18 年度貸借対照表<br>監査報告 |
| 第 3 号議案 | 平成 19 年度事業計画(案)                         |
| 第 4 号議案 | 平成 19 年度収支予算(案)                         |

6 平成 19 年度砂防学会賞授与

7 閉 会

**総会概要**

会の成立：当学会の会員総数	2,381 名
定足数	1,192 名
出席会員数（委任状出席共）	1,661 名

来賓祝辞：国土交通省砂防部長  
農林水産省林野庁森林整備部長  
福井県副知事

来賓紹介：国土交通省近畿地方整備局長  
農林水産省林野庁近畿中国森林管理局长  
福井県農林水産部長  
福井県土木部長

議 長：定款第 22 条により水山高久会長があたる。

議事録署名人：石川芳治会員、小川紀一朗会員

議 事：第 1 号議案、第 2 号議案は一括して鈴木専務理事より説明があり、大村寛監事の監査報告の後、異議なく承認された（下記平成 18 年度収支決算資料参照）。第 3 号議案、第 4 号議案について鈴木専務理事より一括して説明がなされ、原案どおり異議なく承認された（下記平成 19 年度収支予算案資料参照）。

## 平成 18 年度 事業報告

### 1. 研究活動

#### (1) 研究発表会の開催

平成 18 年 5 月 24 日和歌山県・和歌山市「和歌山県民文化会館」において開催された平成 18 年度(社)砂防学会通常総会に引き続き、24 日、25 日に研究発表会、26 日に研修会(高野山他)を実施した。研究発表会では、テーマ別セッション、一般口頭発表、ポスターセッションの 3 形式をとり、テーマ別セッションとして、「人口減少、超高齢化を迎える中山間地の土砂災害対策のあり方」、「地震による地すべり・崩壊」、「最近の豪雨による土砂災害」、「砂防構造物・工法」の各セッションを行い、一般口頭発表として、警戒避難、火山砂防、砂防計画、砂防構造物、砂防事業、指定地管理、斜面安定、斜面崩壊、水文、土砂流出、土石流、環境砂防、緑化の各セッションを行った。総数 243 課題の発表が行われ、参加者は約 1000 名であった。

#### (2) シンポジウムの開催

平成 18 年 10 月 25 日、山梨県甲府市「山梨県立県民文化センター」において、第 38 回(社)砂防学会シンポジウム(テーマ:足和田災害後 40 年、土石流対策の現状と今後)を開催した。引き続き 26 日には現地見学会を実施した。

#### (3) ワークショップの実施

ワークショップ方式による若手研究助成活動を 2 課題実施した(課題名、代表者名)

溪流生態系における生物生息場所の保全技術開発について:次世代の環境砂防へ向けて

布川雅典(専修大学北海道短期大学環境システム科)

森林斜面の不飽和水分特性の空間分布を考慮に入れた降雨流出・表層崩壊予測モデルの構築に向けて

林 祐妃(京都大学大学院農学研究科森林科学専攻)

### 2. 国際学術交流

(1)平成 18 年度砂防学会通常総会並びに研究発表会の開催に合わせて留学生講演会を行い、海外の砂防事業についての紹介と意見交換を行った。話題提供として、森林総合研究所外国人特別研究員の宋如華氏より「中国黄土高原の水土流出災害と対策」、京都大学の Jonathan B. Laronne 氏より「Effect of afforestation and soil conservation on runoff and suspended sediment in a semiarid region, Bikhra Basin, Israel」が発表された。

(2)各種国際会議の案内を砂防学会 Vol.59 No.1~No.6 号に掲載した。

### 3. 事業活動

#### (1) 出版

1)砂防学会誌 Vol.59 No.1~No.6 までの 6 冊を刊行した。

2)平成 18 年度砂防学会研究発表会概要集(Pub. No.45)を刊行した。

3)第 38 回(社)砂防学会シンポジウム講演集(Pub. No.46)を刊行した。

#### (2) 学会財務状況の改善

学会の財務状況と学会運営に必要な財務について精査し、学会誌出版に必要な経費の見直し、部会活動経費の節約を行うことで学会財務の改善を行った。

#### (3) 広報検討委員会活動

会員の減少対策と学会の広報戦略について、広報検討委員会で検討と活動を行った。特

に、学会ホームページワーキンググループを組織し、学会ホームページの改善、会員へのサービス向上の方法についての議論を行った。

(4) 砂防技術研究会の業務受託と共同研究課題

研究者と実務者が共同して研究に取り組むことにより、研究の進展と行政課題の解決の両面において着実な成果を得ることを目的に、砂防技術研究会を設置と下記4件の課題について業務を委託した(課題名・代表者)。

1) 流出特性から見た崩壊・土石流の危険度判定に関する研究

恩田裕一、富士川砂防事務所長

2) 高原川流域での土砂流出量推定に関する研究

中川 一、神通川水系砂防事務所長

3) 中津川流域における土砂流出機構解明に向けた調査検討手法の検討

木村正信、多治見砂防国道事務所長

4) 四国山地における土砂流出・流動に関する研究

松村和樹、四国山地砂防事務所長

(5) 調査・研究の実施

1) 災害緊急調査

国内の土砂災害について災害調査委員会を結成し、調査団を派遣した。調査団は、平成18年7月豪雨災害(岡谷市周辺：平成18年7月22-23日)について結成された。

2) 受託研究調査

下記の課題について各委員会などで調査研究を実施した。

深層崩壊の発生に関する基礎研究

(財)砂防・地すべり技術センター

植生の変化が土砂生産状況に及ぼす影響に関する研究

(社)全国治水砂防協会

平成18年度「土砂災害の発生するおそれのある土地の区域等」の設定に関する検討業務

(財)砂防フロンティア整備推進機構

H18 土石流危険度調査検討業務

国土交通省関東地方整備局富士川砂防事務所

中越地震による斜面災害調査業務委託

国土交通省北陸地方整備局湯沢砂防事務所

3) 河川整備基金助成事業

「2005年台風14号による豪雨で発生した九州地方の土砂災害に関する調査研究」

「2006年7月豪雨により発生した土石流災害に関する調査研究」

(6) 表彰

1) 平成18年度「砂防学会賞」受賞者を総会において表彰した。

・論文賞 里深好文 会員

対象論文：格子型ダムによる土石流の調節に関する数値解析

砂防学会誌 57(6), 21-27, 2005

・論文奨励賞 寺本行芳 会員

対象論文： 桜島の荒廃斜面における表面侵食による土砂流出と植生の影響

砂防学会誌 57(1), 3-12, 2004

雲仙普賢岳湯江川における侵食および土砂流出過程

砂防学会誌 57(4), 15-25, 2004 の実験的研究

砂防学会誌 55(3), 12-20, 2002

・砂防技術賞 1件

受賞者：野中理伸 会員

対象業績：流砂計測システムの開発

流砂等計測システム(六甲住吉型)と観測事例

砂防学会誌 56(6), 27-32, 2004

2) 平成 19 年度「砂防学会賞」受賞者を決定した。

・論文賞

受賞者：藤田正治 会員

対象論文：生成項を考慮した浮遊砂拡散方程式とその適用

砂防学会誌 57(6), 3-12, 2005

・論文奨励賞名

受賞者：黒岩知恵 会員

対象論文：森林伐採や植栽を指標とした崩壊面積予測手法に関する研究

砂防学会誌 57(2), 16-26, 2004

・砂防技術賞

受賞者：内田太郎、吉岡英幸、原 義文、瀬尾克美、長谷川秀三

対象業績：SH 型簡易貫入試験機の開発と適用

(7) 情報提供

砂防学会ホームページの管理・更新、メーリングリストの運営を行った。

(8) 砂防図書館の運営

当学会、(社)全国治水砂防協会、(財)砂防・地すべり技術センター、(財)砂防フロンティア整備推進機構、NPO 法人砂防広報センター、(社)斜面防災対策技術協会の 6 団体共同事業として、砂防に関する図書及び諸資料を収集、整理し砂防関係者等の調査研究と閲覧に供した。

#### 4. 砂防学会の運営事項

1) 会議の開催

(1) 総会

平成 18 年 5 月 24 日和歌山県・和歌山市「和歌山県民文化会館」において通常総会を開催した。出席者および委任状提出者は計 1,626 名(定款 23 条による定足数は 1,220 名)で総会成立。

議案：平成 17 年度事業報告

平成 17 年度収支決算報告

平成 18 年度事業計画(案)

平成 18 年度収支予算(案)

平成18年度砂防学会賞授与

(2) 理事会

第1回 平成18年5月23日(和歌山市)

議案： 平成17年度事業報告  
平成17年度収支決算報告  
平成18年度事業計画(案)  
平成18年度収支予算(案)  
平成18年度ワークショップ採択について

第2回 平成18年5月24日(和歌山市)

議案： 会長、副会長、専務理事の互選  
各部会長の選任

第3回 平成18年7月26日(東京都)

議案： 第29期(社)砂防学会賞選考委員会委員の選任  
関連する学術団体等の委員会委員の選任  
砂防学会誌委員会委員の承認(追認)  
砂防学会各委員会委員長・委員の選任

第4回 平成18年10月24日(甲府市)

議案： 砂防学会誌の印刷会社の選定について  
砂防学会誌の新しい表紙デザインについて  
砂防学会平成19年度一般会計収支予算概算について  
平成19年度砂防学会シンポジウムのテーマ・開催地について  
平成20年度総会並びに研究発表会の開催地について  
国際防災インタープリメント委員会の解散について  
「防災・危機管理 e-開催協力者会議」砂防学会委員の廃止について

第5回 平成19年3月28日(東京都)

議案： 平成18年度事業報告と収支決算(見込み)について  
平成19年度予算編成方針について  
平成18年度砂防学会賞の受賞者の推薦  
平成20年度総会並びに研究発表会開催地について  
第2回砂防技術研究会共同研究について

2) 平成19年度「砂防学会賞」選考委員会 平成19年1月30日

3) その他の会議

(1) 砂防技術研究会：

平成17年度の成果および平成18年度の研究計画・砂防技術研究会の実施要領、今後の研究会の進め方について討論。

(2) 広報検討委員会 (学会ホームページワーキンググループ)

随時電子メール等による電子会議を開催。学会誌・研究発表会講演集に発表された災害情報についてデータベース化。

(3) 研究開発部会：

平成 19 年度ワークショップ公募、砂防技術研究会の開催、受託事業および河川整備基金助成事業、河川環境管理財団研究助成による調査、研究の実施。随時電子会議を開催。

- ( 4 ) 編集部会・編集委員会(和文誌):平成 18 年 4 月 6 日、6 月 2 日、7 月 25 日、10 月 2 日、12 月 4 日、平成 19 年 2 月 1 日。投稿原稿の確認及び原稿処理状況報告、掲載原稿の決定、編集及び査読体制の検討、学会誌印刷費用の見積もりと削減計画、表紙デザインの公募と選考。

編集委員会(英文誌):平成 18 年 12 月 19 日。招待執筆者決定および原稿依頼。執筆要領作成。一般投稿原稿の募集。電子体での発行を決定。

- ( 5 ) 国際部会 :

留学生講演会の開催、各種国際会議情報の提供、留学生名簿の作成。

- ( 6 ) 事業部会 : 平成 18 年 9 月 4 日、ほか随時電子会議を開催。平成 19 年度研究発表会テーマ別セッション、講習会、出版事業について協議。平成 18 年度受託事業計画の検討、各課題担当者の選任等。

- ( 7 ) 経理部会 : 平成 18 年 7 月 18 日、9 月 11 日、10 月 6 日、12 月 4 日、12 月 25 日。学会運営に関する収入と支出の分析、支出削減のための方策協議。

## 平成 18 年度一般会計収支決算報告書

自 平成 18 年 4 月 1 日

至 平成 19 年 3 月 31 日

(単位:円)

科 目	予算額 (a)	決算 (b)	増減 (a) - (b)
<b>収入の部</b>			
1. 基本財産運用収入	30	18	12
2. 会費収入	24,942,250	24,299,000	643,250
3. 事業収入			
出版事業収入	5,000,000	6,500,552	1,500,552
4. 雑収入	5,000	1,899,546	1,894,546
5. 助成金収入	800,000	1,700,000	900,000
6. 繰入金収入			
特別会計繰入金	1,000,000	1,000,000	0
<b>当期収入合計(A)</b>	<b>31,747,280</b>	<b>35,399,116</b>	<b>3,651,836</b>
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>24,153,666</b>	<b>24,153,666</b>	<b>0</b>
<b>収入合計(B)</b>	<b>55,900,946</b>	<b>59,552,782</b>	<b>3,651,836</b>
<b>支出の部</b>			
1. 事業費	30,446,000	28,660,450	1,785,550
出版事業費	18,900,000	18,056,385	843,615
研究費	6,350,000	4,959,269	1,390,731
研究助成金研究費	1,166,000	2,605,112	1,439,112
図書館運営費	1,100,000	1,100,000	0
部会活動費	2,280,000	1,546,107	733,893
表彰制度運営費	600,000	393,577	206,423
会員名簿作成費	50,000	0	50,000
2. 管理費	7,804,000	6,732,794	1,071,206
人件費	3,352,000	3,140,105	211,895
管理諸費	4,452,000	3,592,689	859,311
3. 特定預金支出	600,400	548,834	51,566
退職給与引当預金支出	540,000	535,603	4,397
減価償却引当預金支出	60,400	13,231	47,169
国際交流積立金支出	0	0	0
<b>当期支出合計(C)</b>	<b>38,850,400</b>	<b>35,942,078</b>	<b>2,908,322</b>
<b>当期収支差額(A)-(C)</b>	<b>7,103,120</b>	<b>542,962</b>	<b>6,560,158</b>
<b>次期繰越収支差額(B) - (C)</b>	<b>17,050,546</b>	<b>23,610,704</b>	<b>6,560,158</b>



## 平成 18 年度特別会計(受託事業)収支決算報告書

自 平成 18 年 4 月 1 日

至 平成 19 年 3 月 31 日

(単位:円)

科 目	予算額 (a)	決算 (b)	増減 (a) - (b)
<b>収入の部</b>			
<b>1. 事業収入</b>			
受託事業収入	20,000,000	37,968,000	17,968,000
<b>2. 雑収入</b>	200	1	199
<b>当期収入合計(A)</b>	20,000,200	37,968,001	17,967,801
<b>前期繰越収支差額</b>	14,083,366	14,083,366	0
<b>収入合計(B)</b>	34,083,566	52,051,367	17,967,801
<b>支出の部</b>			
<b>1. 事業費</b>			
研究調査費	12,000,000	19,522,264	7,522,264
<b>2. 管理費</b>			
共通管理費負担金	8,000,000	12,147,844	4,147,844
<b>3. 繰入金支出</b>			
一般会計繰入金支出	1,000,000	1,000,000	0
<b>当期支出合計(C)</b>	21,000,000	32,670,108	11,670,108
<b>当期収支差額(A)-(C)</b>	999,800	5,297,893	6,297,693
<b>次期繰越収支差額(B)-(C)</b>	13,083,566	19,381,259	6,297,693

## 平成 18 年度収支決算総括表

自 平成 18 年 4 月 1 日

至 平成 19 年 3 月 31 日

(単位:円)

科目	合計	一般会計	特別会計 (受託事業)	内部取引消去
<b>収入の部</b>				
<b>事業収入</b>	44,468,552	6,500,552	37,968,000	
<b>基本財産運用収入</b>	18	18	0	
<b>会費収入</b>	24,299,000	24,299,000	0	
<b>雑収入</b>	1,899,547	1,899,546	1	
<b>助成金等収入</b>	1,700,000	1,700,000	0	
<b>繰入金収入</b>	0	1,000,000	0	1,000,000
<b>当期収入合計(A)</b>	72,367,117	35,399,116	37,968,001	1,000,000
<b>前期繰越収支差額</b>	38,237,032	24,153,666	14,083,366	
<b>収入合計(B)</b>	110,604,149	59,552,782	52,051,367	1,000,000
<b>支出の部</b>				
<b>事業費</b>	48,182,714	28,660,450	19,522,264	
<b>管理費</b>	18,880,638	6,732,794	12,147,844	
<b>特定預金支出</b>	548,834	548,834	0	
<b>繰入金支出</b>	0	0	1,000,000	1,000,000
<b>当期支出合計(C)</b>	67,612,186	35,942,078	32,670,108	1,000,000
<b>当期収支差額(A) - (C)</b>	4,754,931	542,962	5,297,893	
<b>次期繰越収支差額(B) - (C)</b>	42,991,963	23,610,704	19,381,259	

## 平成 18 年度一般会計貸借対照表

(単位:円)

(平成 19 年 3 月 31 日現在)

科目	金額		
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>			
<b>1. 現金預金</b>			
現金			
現金	172,126		
現金合計	172,126		
預金			
流動性預金			
郵便振替	3,867,175		
郵便貯金	476,921		
普通預金	3,126,667		
流動性預金合計	7,470,763		
固定性預金			
定期預金	10,000,000		
固定性預金合計	10,000,000		
預金合計	17,470,763		
現金預金合計	17,642,889		
<b>2. その他流動資産</b>			
未収金	11,747,344		
その他流動資産合計	11,747,344		
<b>流動資産合計</b>		29,390,233	
<b>固定資産</b>			
<b>3. 基本財産</b>			
普通預金	30,000,000		
基本財産合計	30,000,000		
<b>4. その他固定資産</b>			
什器備品	34,929		
退職給与引当預金	2,389,587		
減価償却引当預金	663,695		
学術国際協力事業積立金	18,000,000		
その他固定資産合計	21,088,211		
<b>固定資産合計</b>		51,088,211	
<b>資産合計</b>			80,478,444
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>			
未払金	4,997,712		
預り金	161,217		
未払消費税等	620,600		
<b>流動負債合計</b>		5,779,529	
<b>固定負債</b>			
退職給与引当金	2,389,587		
<b>固定負債合計</b>		2,389,587	
<b>負債合計</b>			8,169,116
<b>正味財産の部</b>			
<b>正味財産</b>			72,309,328
(うち基本金)			30,000,000
(うち当期正味財産減少額)			1,542,962
<b>負債及び正味財産合計</b>			80,478,444

## 平成 18 年度受託会計貸借対照表

(平成 19 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

科目	金額	
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
<b>1. 現金預金</b>		
現金		
現金	15,257	
現金合計	15,257	
預金		
流動性預金		
普通預金	2,890,903	
流動性預金合計	2,890,903	
預金合計	2,890,903	
現金預金合計	2,906,160	
<b>2. その他流動資産</b>		
未収金	14,315	
未収収益	35,608,000	
その他流動資産合計	35,622,315	
<b>流動資産合計</b>		38,528,475
<b>資産合計</b>		38,528,475
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
未払金	16,043,716	
未払法人税等	3,103,500	
<b>流動負債合計</b>		19,147,216
<b>負債合計</b>		19,147,216
<b>正味財産の部</b>		
<b>正味財産</b>		19,381,259
(うち基本金)		0
(うち当期正味財産減少額)		6,297,893
<b>負債及び正味財産合計</b>		38,528,475

## 平成 18 年度貸借対照表総括表

(平成 19 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

科目	合計	一般会計	特別会計 (受託事業)	内部取引消去
<b>資産の部</b>				
流動資産	58,874,364	29,390,233	38,528,475	9,044,344
固定資産	51,088,211	51,088,211		
基本財産	30,000,000	30,000,000		
その他固定資産	21,088,211	21,088,211		
<b>資産合計</b>	109,962,575	80,478,444	38,528,475	9,044,344
<b>負債の部</b>				
流動負債	15,882,401	5,779,529	19,147,216	9,044,344
固定負債	2,389,587	2,389,587		
<b>負債合計</b>	18,271,988	8,169,116	19,147,216	9,044,344
<b>正味財産の部</b>				
正味財産	91,690,587	72,309,328	19,381,259	
<b>負債及び正味財産合計</b>	109,962,575	80,478,444	38,528,475	9,044,344

## 平成 19 年度 事業計画(案)

### 基本方針

砂防に関する研究および調査を推進することにより、広く土砂災害に関する防災科学技術の振興を図り、国土の保全、環境の創出、国民生活の安全等に寄与することを目的とする。

平成 19 年度においては、以下の事業を推進する

- ( 1 ) 研究及び調査並びにその奨励と普及
- ( 2 ) 研究及び調査の助成
- ( 3 ) 研究発表会、シンポジウム等の開催
- ( 4 ) 砂防学会誌及び砂防に関する図書、報・論文、資料等の刊行
- ( 5 ) 図書及び資料の収集・保管
- ( 6 ) 国際学術交流
- ( 7 ) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

### 事業計画

#### 1. 研究活動

- ( 1 ) 総会並びに研究発表会

平成 19 年度通常総会	5 月 23 日	福井市
研究発表会	5 月 23 日、24 日	同上
現地研修会	5 月 25 日	一乗谷、アカタン

- ( 2 ) シンポジウム

第 39 回 ( 社 ) 砂防学会シンポジウム	10 月 18 日	新潟市
現地研修会	10 月 19 日	旧山古志村
日・韓・台砂防国際シンポジウム	10 月 15 日	東京都

- ( 3 ) ワークショップ方式による研究活動と助成

#### 2. 国際学術交流

- ( 1 ) 日・韓・台砂防国際シンポジウムの開催

アジア地域の中で、自然・社会条件が類似している日本・韓国・台湾が一同に会し、土砂災害対策について、研究・行政面に関するお互いの砂防技術を切磋琢磨し、アジアを中心として世界の砂防学の発展に協同していくことを目的に行う。

- ( 2 ) 各種国際会議の最新情報を砂防学会誌に掲載する

#### 3. 事業活動

- ( 1 ) 出版

- 1 ) 砂防学会誌 Vol.60 No.1 ~ No.6 までの 6 冊と英文誌特別号 ( 電子体 ) を刊行する
- 2 ) 平成 19 年度砂防学会研究発表会概要集を刊行する
- 3 ) 第 39 回(社)砂防学会シンポジウム講演集を刊行する
- 4 ) 調査・研究等の成果報告書を刊行する

- ( 2 ) 砂防に関する講演会・研究集会の企画・開催

- ( 3 ) 調査・研究

- 1 ) 砂防技術研究会での研究調査
- 2 ) 受託研究の実施

3) 災害調査

(4) 表彰

1) 平成 19 年度砂防学会賞(「論文賞」、「論文奨励賞」、「砂防技術賞」)受賞者の表彰

2) 平成 20 年度砂防学会賞(「論文賞」、「論文奨励賞」、「砂防技術賞」)受賞者の決定

**4. 砂防図書・資料の保管整備、砂防図書館の充実**

**5. 広報委員会活動として、会員増に向けての対応、学会活動の充実、学会ホームページ、メーリングリストなどインターネットを通じた情報交換の促進に取り組む。**

## 平成 19 年度収支予算書(案)

自 平成 19 年 4 月 1 日

(単位:円)

至 平成 20 年 3 月 31 日

科 目	平成 19 年度 予算額 (a)	平成 18 年度 予算額 (b)	増 減 (a)-(b)
<b>事業活動収支の部</b>			
<b>事業活動収入</b>			
1. 基本財産運用収入	0	30	30
2. 会費収入	24,152,800	24,942,250	789,450
3. 事業収入	25,000,000	25,000,000	0
出版事業収入	5,000,000	5,000,000	0
受託事業収入	20,000,000	20,000,000	0
4. 補助金収入	800,000	800,000	0
5. 雑収入	5,000	5,200	200
6. 他会計からの繰入金収入			
特別会計繰入金収入	0	1,000,000	1,000,000
<b>事業活動収入計 (A)</b>	49,957,800	51,747,480	1,789,680
<b>事業活動支出</b>			
1. 事業費支出	35,135,000	42,446,000	7,311,000
出版事業費支出	12,500,000	18,900,000	6,400,000
受託事業(研究調査)費支出	12,000,000	12,000,000	0
研究費支出	5,200,000	6,350,000	1,150,000
助成金事業研究費支出	300,000	1,166,000	866,000
図書館運営費支出	1,100,000	1,100,000	0
部会活動費支出	1,535,000	2,280,000	745,000
表彰制度運営費支出	500,000	600,000	100,000
会員名簿作成費支出	2,000,000	50,000	1,950,000
2. 管理費支出	15,994,000	15,804,000	190,000
人件費支出	6,782,000	6,782,000	0
管理諸費支出	9,212,000	9,022,000	190,000
3. 他会計への繰入金支出			
一般会計繰入金支出	0	1,000,000	1,000,000
<b>事業活動支出計 (B)</b>	51,129,000	59,250,000	8,121,000
<b>事業活動収支差額 (A)-(B)</b>	1,171,200	7,502,520	6,331,320
<b>投資活動収支の部</b>			
<b>投資活動支出</b>			
特定資産取得支出	660,000	600,400	59,600
退職給与引当資産取得支出	650,000	540,000	110,000
減価償却引当資産取得支出	10,000	60,400	50,400
<b>投資活動支出計 (C)</b>	660,000	600,400	59,600
<b>投資活動収支差額 -(C)</b>	660,000	600,400	59,600
<b>当期収支差額 (A)-(B)-(C)</b>	1,831,200	8,102,920	6,271,720
<b>前期繰越収支差額</b>	42,991,963	38,237,032	4,754,931
<b>次期繰越収支差額</b>	41,160,763	30,134,112	11,026,651



## 平成 19 年度砂防学会賞受賞者業績

「砂防学会賞」選考委員会

**論文賞**：藤田正治 会員（京都大学防災研究所水災害研究部門教授；昭和 62 年京都大学大学院工学研究科博士過程修了、工学博士）

対象論文：生成項を考慮した浮遊砂拡散方程式とその適用、藤田正治・水山高久、砂防学会誌 Vol.57、No.6、p.3-12、2005

**論文奨励賞**：黒岩知恵 会員（アジア航測株式会社；平成 15 年高知大学大学院農学研究科修士課程修了）

対象論文：森林伐採や植栽を指標とした崩壊面積予測手法に関する研究、砂防学会誌、Vol.57、No.2、2004

**砂防技術賞**：内田太郎（国土交通省砂防部砂防計画課計画係長） 吉岡英幸（神奈川県藤沢土木事務所河川砂防第 3 課長） 原義文（長野県砂防課長） 瀬尾克美（（株）日さく常務執行役員、元（財）砂防・地すべり技術センター専務理事） 長谷川秀三（ジオグリーンテック（株）代表取締役社長） 会員

対象業績：S H 型簡易貫入試験機の開発と適用